

## 広島高速5号線シールドトンネル工事の進捗状況等について

### 1 要旨・目的

広島高速道路公社が事業を進めている広島高速5号線のシールドトンネル工事の進捗状況等について報告する。

### 2 現状・背景

広島高速5号線シールドトンネル工事については、昨年10月から牛田地区の住宅地区間を掘進しており、地表面沈下の抑制などの対策を取りながら慎重に工事を進めている。

また、安全・安心に工事を進めるための地元対応により生じた費用、掘削に時間を要しているに伴う現場管理費等が必要となっており、これらの費用負担等に係る契約変更の内容について、受注者から公社に対し、中央建設工事紛争審査会に調停申請した旨の連絡が12月5日にあった。なお、公社及び受注者ともに、これまでと同様に安全・安心を第一として早期完成を目指し工事を継続していくこととしている。

### 3 概要

#### (1) 対象者

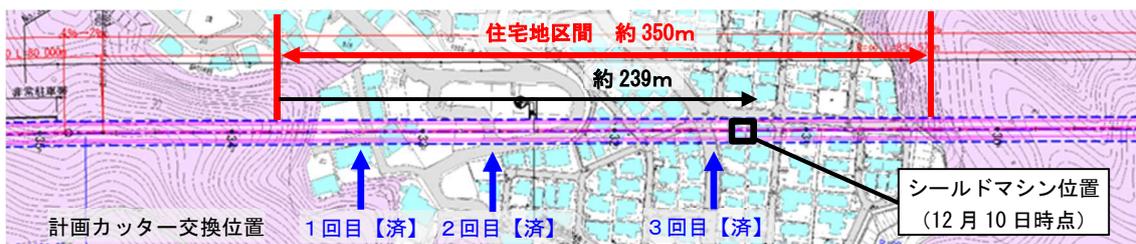
—

#### (2) 事業内容（実施内容）

##### ア 牛田地区におけるシールドトンネル工事の進捗状況

住宅地区間で掘削作業を進めており、今月10日時点において、住宅地区間約350mのうち約239m地点（シールドトンネル工事の延長約1,400mのうち約880m地点）に到達している。また、12月8日の掘削においてカッター片を回収したことから住宅地区間で7回目の臨時点検を行っている。

マシン直上の地表面変位が10月14日に一次管理値(1.3mm)に到達し、今月10日時点において+2.2mmとなっており（+1.0mm～+2.3mmの間を推移）、地表面変位の上昇への対応として泥水圧の低減等を行った上で、監視体制を強化しながら慎重に作業を行っている。（+：隆起方向の変位）



##### イ シールドトンネル工事の契約変更

受注者から審査会に調停申請されており、今後審理が非公開で行われることとなるが、審理への影響を考慮しながら可能なものについては丁寧に情報提供するように公社に対して働きかけるとともに、引き続き、事業主体である公社や広島市と連携し、公正性・透明性の確保を図りながら適切に対応していく。

#### (3) スケジュール

—

#### (4) 予算（単県）

令和4年度 広島高速道路公社出資金・貸付金 1,850百万円

#### (5) 今後の対応

引き続き、事業主体である公社や広島市と連携し、住民の不信や不安を可能な限り払拭できるよう、適切かつ丁寧な対応に努めながら、着実な事業推進に取り組む。